



法政大学 (東京都)

日本語能力が高い学生は、法政大学の正規授業も履修可能

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

法政大学は、1880年東京法学社として設立され、140年の歴史を持つ日本で最も歴史と伝統のある私立大学の1つです。現在は15学部、15大学院研究科、3インスティテュート、そして2専門職大学院を擁し、学生数は約30,000人、教職員数は約1,200人、3キャンパス(市ヶ谷、多摩、小金井)を有する、日本屈指の総合大学です。本制度での留学生は、東京の中心に位置する市ヶ谷キャンパスで学びます。

学部：法、文、経済、社会、経営、国際文化、人間環境、現代福祉、キャリアデザイン、グローバル教養、スポーツ健康、情報科学、デザイン工、理工、生命科学

大学院：人文科学、国際文化、経済学、法学、政治学、社会学、経営学、人間社会、情報科学、政策創造、デザイン工学、公共政策、キャリアデザイン学、理工学、スポーツ健康学、連帯社会インスティテュート、総合理工学インスティテュート、国際日本学インスティテュート

専門職大学院：法務研究科、イノベーション・マネジメント研究科



② 国際交流の実績

- ・海外交流協定大学 : 50ヶ国・地域、270大学・機関
- ・交換留学生の受入れ : 毎年160名程度 (28ヶ国・地域)

※28ヶ国・地域：アメリカ、イギリス、イタリア、ウズベキスタン、ベルギー、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、スイス、スウェーデン、スペイン、台湾、香港、チェコ、デンマーク、ドイツ、フランス、ウクライナ、シリア、カザフスタン、マレーシア、タイ、インドネシア、メキシコ、ロシア、中国、韓国

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2025年：留学生数 1,717人、日研生 4人
2024年：留学生数 1,110人、日研生 5人
2023年：留学生数 1,082人、日研生 4人

④ 地域の特徴

法政大学市ヶ谷キャンパスは、東京の中心の千代田区に位置し、交通の便が非常に良い場所にあります。新宿や渋谷などの主要エリアへも電車で15分で行くことができます。近くには、神楽坂や神社など、江戸時代から続く歴史ある観光スポットがあり、大学から徒歩でアクセスすることが出来、大都会の雰囲気とは異なる日本の伝統的な雰囲気に触れることができます。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

日本語運用能力の向上だけでなく、日本の文化・社会などに関する知識と、その実践的な経験を積んだ学生を育成することを目的としています。またコース修了後のキャリアに繋がる学びも重視し、キャリアパスへのフォローアップも行います。1997年から交換留学生の受入を開始し、正規留学生含め12,000人以上の受入を行っています。日本語学習では、読解・文法・会話だけでなく、アカデミック日本語やビジネス日本語など多様な科目を学ぶことが可能です。各セメスター開始時に行われる日本語プレースメントテストにおいて、日本語能力検定2級(N2)レベル相当と判断される学生については、全ての正規授業を日本人学生と共に履修することも可能となります。授業内では、日本人学生とのアクティブラーニングも積極的に実施しています。日本語授業はレベル1(初級)～レベル7(上級)で構成され、週に3～5コマ(1コマ100分)の授業をほぼ毎日履修することで、日本語運用能力を高めていくことを目的としており、敬語やビジネス文書、JLPT対策、大学院進学対策などキャリアアップを目的とした授業も実施しています。

日本語授業には日本人学生がTAとして関わり、授業のサポートを行います。

(2ページに続きます)

日本語で行われる全ての正規授業が履修可能であり、15学部15研究科3インスティテュートの幅広い分野の専攻から、文学、歴史、経営、地域、若者など様々な視点で、日本の文化・社会に関する授業を履修することが可能となります。

授業内では、積極的にグループディスカッション、ディベート等が行われ、教室内で日本人学生との交流も盛んに行われています。

さらに、英語で行われる留学生向けの日本文化・歴史・経済・経営等の授業も履修可能であり、他国から来た留学生や日本人学生と共に授業を受けることができます。

授業以外においても、東京六大学野球観戦、茶道体験、三曲体験、歌舞伎鑑賞教室など、数多くの日本文化体験の機会を設けており、それらのイベントについても留学生だけではなく、留学生との交流に関心が高い日本人学生も多く参加しています。



- ③ 受入定員（予定）
4名（大使館推薦 2名、大学推薦 2名）

④ 受講希望者の資格、条件等

1. 在籍大学において、日本語・日本文化に関する分野を主専攻として専攻し、日本語を少なくとも1年以上学んでいること。
2. 英語での授業の履修を希望する場合で英語が母語ではない学生はIELTS6.0、TOEFL-iBT76点または同等レベルの英語力を持っていることが望ましい。
3. 日本と母国の架け橋人材に相応しい人物。

⑤ 達成目標

日本文化・社会について日本語もしくは英語での授業や文化体験を通じて深く理解するとともに、日本語で資料を読み、レポートを書き、プレゼンテーションできるように日本語運用能力を高めることを目標としています。



⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2026年9月中旬 ～ 2027年8月下旬
（在籍期間：2026年9月16日～2027年9月15日）

⑦ 奨学金支給期間

2026年10月 ～ 2027年8月（11ヵ月）

⑧ 研修・年間スケジュール

9月上旬：渡日
9月中旬：秋学期開始
オリエンテーション
交換留学生歓迎パーティー
Buddyマッチング
10月：東京六大学野球観戦
11月：学園祭
12月：国際交流懇親会
冬季休暇
1月：秋学期定期試験
学期末パーティー
2月：春季休暇
4月：春学期開始
5月：東京六大学野球観戦
6月：日本語スピーチコンテスト
7月：春学期定期試験
学期末パーティー
8月下旬：サマーセッション
報告会および修了式
帰国

⑨ コースの修了要件

各学期6科目以上の履修を必須としており、内日本語科目は各学期につき3～5科目程度を履修する必要があります。また、1年後の報告会には必ず参加して頂き、1年間の学習成果とそれを活かした今後の進路や予定を発表して頂きます。1年間で12科目以上の単位を修得すると修了要件を満たすことになり、修了証を授与します。同時に、成績証明書も発行しますので、在籍大学での単位認定に活用することができます。



⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴
レベル1～レベル7の日本語科目の中で、学生自身のレベルに所属する日本語科目を履修することができます。高い日本語能力を持つ留学生については、日系企業就職や日本の大学院進学に備える上級科目も用意されており、15学部15研究科3インスティテュートの幅広い分野の専攻から、様々な視点で日本の文化・社会に関する授業を履修することができます。



（3ページに続きます）

2) 研修・コース開設科目

必修科目はありませんが、各学期6科目の履修が必要です。日本語科目は各学期につき3～5科目程度の履修をする必要があり、代表的には以下のよう
な科目があります。

ビジネス日本語・・・ビジネス敬語の基礎
能力試験対策N1・・・日本語能力試験N1を目指す
日本の社会と文化・・・日本の伝統文化を体験
日本社会とメディア・・・作品を通じた討論
アカデミック日本語・・・大学院進学対策

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

「フィールドワーク・課題研究」では、社会調査の基礎を学んだ上で、文献学習でテーマを設定し、日本文化・社会に関するフィールドワークを行います。また、留学生向けの授業では、企業や工場の見学を行っており、日本の産業をより身近に感じられる機会を与えています。これらの授業は、日本人学生と外国人留学生が協働して行う体験型授業であり、様々な異文化交流ができることが魅力です。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

文学、歴史、経営、地域、若者など様々な視点で、日本の文化・社会に関する授業（「地域文化論」「日本の文化と社会」）では、日本人学生とのグループディスカッション、ディベート等が行われます。日本語授業では、日本人学生をボランティアとして授業のサポートを行っており、対話を通じより実践に近い環境を提供しております。

⑪ 指導体制

1) 責任教員

ESOPディレクター
Stevie SUAN（グローバル教養学部准教授）

2) 事務責任者

伊藤 昌子（グローバル教育センター事務部長）
海外経験が豊富な教員・事務職員が連携し、学生の教学面・生活面でのサポートを英語と日本語にて行っています。

■宿 舎

大学から40～60分程度の通学圏内に宿舎があり、本プログラムによる留学生は、朝食と夕食付の個室の場合（提供日は日曜・祝日を除く月曜日から土曜日に限る）、最大年間室料614,400円（1ヶ月51,200円、洗面台付き部屋タイプ）（2025年10月現在）で入居することが可能です。

加えて、毎月のインターネット代の支払いが必要です。また、寝具等を有料でレンタルすることもできます。部屋はエアコン・ベッド・机付の個室で、バス・トイレは共同です。洗濯機、掃除機は無料で使用することができます。

寮費は学期ごとの支払いが必要で、渡日前に海外送金で秋学期分の前納が必要となりますので、ご留意ください。

イメージ図：



■修了生へのフォローアップ

法政大学では2014年に初めて日本語・日本文化研修留学生の受入れを行いました。ESOPでの交換留学生の受入れ実績は20年以上の歴史があり、過去に在籍した留学生にはその後、本学の大学院に進学したり、また母国の外交官になった人もいます。そのため、帰国後にも進学や就職についての相談や、必要となる証明書の発行などのサポートも充実しています。



■問合せ先

<担当部署>

法政大学グローバル教育センター事務部

住所：〒102-8160

東京都千代田区富士見2-17-1

TEL： +81-3-3264-9315（直通）

FAX： +81-3-3264-4624

Email： ic@hosei.ac.jp

<ウェブサイト>

法政大学ホームページ

<https://www.hosei.ac.jp/>

法政大学グローバル教育センターホームページ

<https://www.global.hosei.ac.jp/>

法政大学ESOPホームページ

<https://www.global.hosei.ac.jp/en/students/esop/>